

### 環境調査結果のお知らせ

平成29年7月11日午前10時半から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

#### 概況

湾内の環境は、水温24~27℃、塩分26~35、溶存酸素量5~10mg/lでした。  
透明度は2~5mで、有害種のカレニア・ミキモトイ、ケラチウム属が確認されました。

#### 水温と塩分(表1・2)

水温24.1~27.0℃、塩分26.4~34.5でした。  
前回調査時と比較して、水温は全層で0.3~2.0℃上昇しました。塩分は表層から5m層で0.2~3.5低下し、10m層で0.1上昇しました。

#### 溶存酸素量(表3)

溶存酸素量4.8~10.3mg/lでした。  
前回調査時と比較して、存酸素量は表層から2m層及び10m層から底層で0.2~0.8mg/l上昇し、5m層で0.2mg/l減少しました。

#### プランクトン(表4・5)

透明度は2.0~4.5mでした。  
検鏡の結果、魚類に有害なカレニア・ミキモトイが最高で120cells/ml、ケラチウム属が最高で7cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

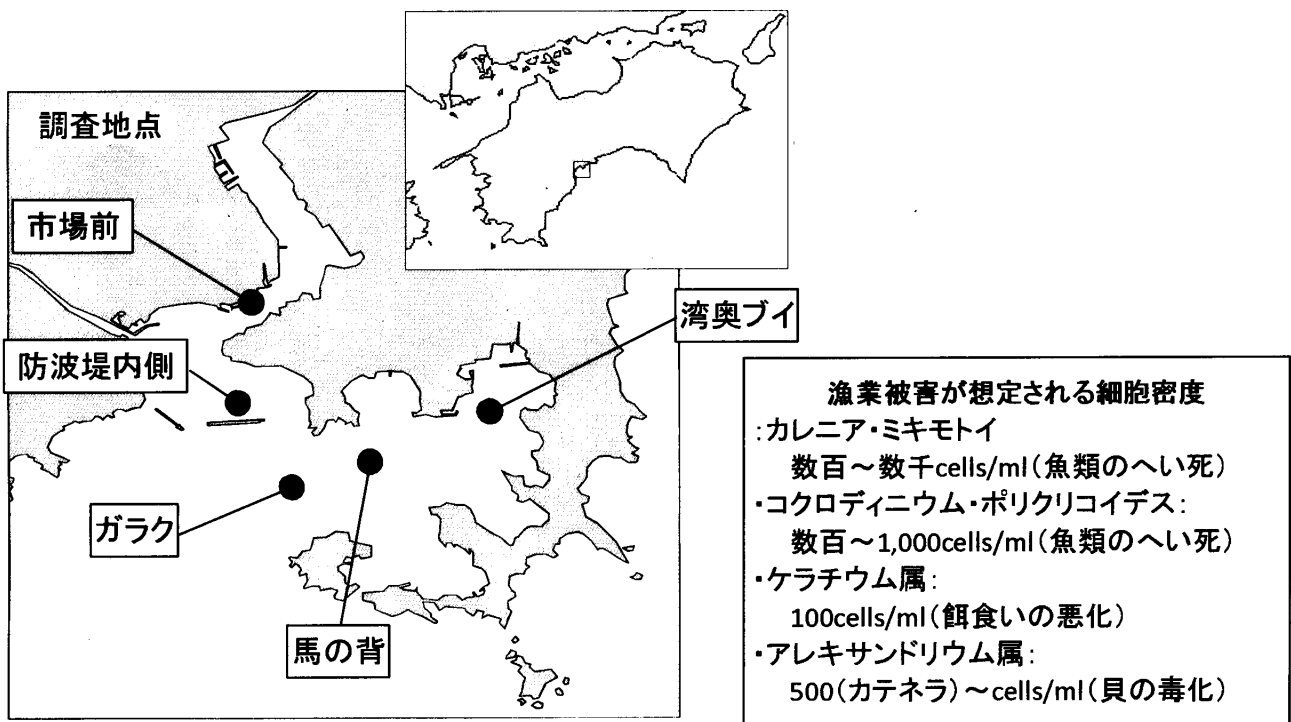


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.6.27)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	27.0	27.0	26.4	26.9	26.8	24.8	2.0	26.7
2m	26.5	26.9	26.2	26.3	26.5	24.8	1.7	26.2
5m	24.9	25.1	25.9	25.5	25.3	24.7	0.6	24.9
10m	24.6	24.7	24.7	24.6	24.6	24.3	0.3	24.8
B-1m	24.2	24.1	24.2	24.2	24.2	23.8	0.4	24.7

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.6.27)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	29.7	28.6	29.6	26.4	29.3	32.8	▲ 3.5	25.5
2m	31.4	29.3	30.4	30.4	30.3	33.0	▲ 2.7	30.7
5m	34.0	33.8	32.2	32.5	33.3	33.5	▲ 0.2	33.5
10m	34.4	34.2	34.3	34.2	34.3	34.2	0.1	33.8
B-1m	34.5	34.5	34.5	34.4	34.5	34.5	0.0	34.0

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.6.27)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.2	8.5	7.5	10.3	8.1	7.4	0.7	9.8
2m	8.0	8.4	7.6	8.9	8.0	7.2	0.8	8.7
5m	6.3	6.3	6.9	7.4	6.5	6.7	▲ 0.2	5.9
10m	6.2	5.9	6.5	5.6	6.2	5.7	0.5	5.7
B-1m	5.9	5.8	6.4	4.8	6.0	5.8	0.2	5.6

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.6	23.4	15.5	15.0	11.4
透明度	3.5	2.5	4.5	2.0	2.0
前回(6/27)	3.0	5.0	6.0	1.5	1.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	ケラチウム属	アレキサンドリウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	1	0	1	0	7,350
	2m	0	0	0	0	2,600
	5m	120	0	7	0	1,000
馬の背	0m	2	0	0	0	18,600
	2m	4	0	0	0	16,800
	5m	35	0	1	0	300
ガラク	0m	6	0	0	0	12,300
	2m	8	0	0	0	29,100
	5m	9	0	1	0	11,480
津波防波堤内側	0m	0	0	0	0	5,850
	2m	0	0	0	0	9,800
	5m	0	0	6	0	15,300
市場前	0m	0	0	0	0	12,000
	2m	5	0	4	0	20,500
	5m	1	0	4	0	12,450